

アンスティチュ・フランセの募集要項

映写技師

アンスティチュ・フランセについて：

アンスティチュ・フランセ（IFJ）は、全国 5 カ所（東京、横浜、京都、大阪、福岡）に拠点をもち、4 支部から成るネットワークを通してフランス語とフランス文化を発信する機関です。

主な職務：

- 映画を主とする多種多様な上映（DCP、35mm 映写機）
- 放送に向けての映画の準備
- 映画館（エスパス・イマージュ）において登壇の際の技術運用

具体的な業務：

- 東京日仏学院の映写技師として従事する。
- 映画館で行われる、文化活動および東京日仏学院のイベント（講演会、演奏会、その他登壇など）において技術的な面を担当する。
- 映画上映に係る機材・設備の点検およびメンテナンス。

労働条件：

勤務地：東京日仏学院（〒162-8415 東京都新宿区市谷船河原町 15 番地）

特殊な制約：水曜日から日曜日にかけて勤務し、文化プログラムによっては弾力性が求められることもある。

休日と休暇：週休 2 日制、有休休暇（日数は日本の法律を基準とする）および IFJ の特別休暇（2025 年は 17 日間）。

柔軟性：夜勤、必要に応じた始業・終業時刻の可変性。

必要とされる能力：

知識

- 映画・視聴覚系の機材に関する知識（特に DCP と 35mm 映写機について）。
- オンライン配信システムに関する基礎知識。
- 音響や照明に関する知識があると更に良い。
- 高水準の日本語能力が必須である外、ある程度のフランス語および／または英語能力が期待される。

個人的資質

- 分析能力（ニーズの理解）
- 迅速な応答
- 自主性

望ましい専門性：

- イベント事業に携わった経験があると更に良い。

募集条件：

契約の内容及び期間：1年間の、更新可能な有期雇用契約。

週間労働時間：毎週 20 時間（フレックスタイム労働協約が有効）。

月給：168 134 円（総支給額）

理想とされる着任日：2025年9月1日

必須条件：日本において在留資格を有し、就労が認められていること。

応募書類：

応募には以下の書類が必要になります：

- フランス語または英語の履歴書
- フランス語または英語の志望動機書に加え、日本語の動機書
- 資格、証書などのコピー
- 推薦状（任意）

応募書類は、メールのみで、2025 年 8 月 17 日までに、次のアドレスに送付されるものとします：
tokyo.recrutement@institutfrancais.jp また、件名には《 Projectionniste 》と入れてお送りください。